



～ 小中一貫教育を通して、子どもたちの心身の健やかな成長を目指します。～

☆ すこやか河内学校園 冒険活動教室 9/18(水) ～ 9/20(金)

すこやか河内学校園小中学校 3 校合同の冒険活動教室が行われました。好天に恵まれ、実施期間中の夜に少し大きな地震がありましたが、予定していた全ての活動を行うことができました。以下活動の様子を紹介します。



入所式



仲間作りゲーム



イニシアチブゲーム

初日は小中合同の入所式、午後は小学校合同でイニシアチブゲームを楽しく行いました。

○ 素晴らしい秋空の下で、すぐに仲良くなることができました。

2 日目の夜は中秋の名月。3 校合同でキャンプファイヤーを行い、大いに盛り上がりました。

中学生の企画、実行力の素晴らしさに何度も感嘆の声があがり、学校園としての一体感を感じることができました。

○ 迫力ある炎を囲んで出し物を披露し合い、楽しい時間を過ごしました。



二山登山

最終日は小学校合同で二山登山に挑みました。険しい登山に弱音をはきながらも、頑張って登り切ることができました。



退所式

☆ 地域学校園事務室より

地域学校園事務室活動の一つとして「義務教育 9 年間の経費一覧」を作成し、小学校の新入生保護者説明会の際に資料の提示・説明をしています。これは、保護者の教育費設計に向けて情報提供を行っていくことを目的として、平成 23 年度から取り組んでいるものです。学校集金として毎月徴収している給食費や共同購入費等の学年費・PTA 会費などに加え、旅行業者と保護者の個人契約によって集金している、中学校の修学旅行積立てが対象になっています。

義務教育9年間で必要となる経費の内訳		
	小1年 ～ 中3年	
	給食費	
学年費	共同購入費・補助教材費	
	スポーツ振興センター掛金	
	芸術鑑賞代	
	校外活動費・冒険活動費	
	旅行積立金	
	児童会費・生徒会費	
	PTA会費	
	体育文化振興費	
	卒業準備金	
		合計はどのくらい？

学校ごとに金額には多少の違いがあります。

実際この経費の合計がいくらぐらいになると思われますか？答えは…約 80 万円です。中でも一番大きな割合を締めるのはやはり給食費で、半分以上の約 43 万円となっています。

この 3 年間、経費全体ではあまり変動なく推移していましたが、残念ながら来年度は消費税の増税により、学校集金にも大きな影響が出てくることが見込まれます。保護者の負担が大きくならないよう、学校側も極力、各経費の節減に努めて執行していかなければならないと考えています。

地域学校園事務室として今後もこの取組を継続し、保護者や各学校に情報提供をしていきたいと思っています。

☆ 教科部会からの報告

本地域学校園では教科の連携を深めるため、小中合同の教科部会を設置し、共通の課題を設定して授業に取り入れ、指導の改善を行っています。

以下に各教科の共通課題と本年度の取組の内容をまとめました。

教 科	共通課題	取組の内容
国 語	さまざまな表現活動において、漢字力、語彙力を生かせる児童生徒の育成のための言語事項（漢字・語句・文法）の指導の工夫。	① 練習機会を増やし、漢字力の育成を図る。 ② 読解教材において語句の意味の確認を行い、定着を図る。 ③ 全学年の復習を取り入れ、既習事項の確認を行う。
社 会	言語活動の充実に向け、自己の考えや意見を論述する力の育成。	〔小学校〕授業や単元の終わりに、キーワードを使って、学習した内容をまとめさせる時間を設けるようにした。 〔中学校〕公民の授業では、自分の考えを論述する機会を増やしている。その際、自分の考えの根拠を明確にするよう強調して指導した。
算数・数学	図形分野が年度末に集中してしまうため、図形分野以外の単元でも図形感覚を養うために、課題の与え方を工夫していく。	① 算数・数学科の共通課題として、図形分野での算数・数学的活動の充実を図る。 ② 上記を盛り込み、年間指導計画の見直しを行う。
理 科	観察・実験のレポートのまとめ方を、しっかりと指導していく。	① 観察・実験のレポート作成において、言語活動を重視した指導を実施した。 ② 知識理解の定着をはかるためには家庭学習が不可欠であることから、家庭学習の充実を図るために宿題を課し、提出を促す工夫を凝らした。 ③ 小学校で、観察・実験の時間を増やした。
音 楽	① 姿勢 ② 口の開き方 ③ 表情（笑顔で）	音楽集会や合唱コンクールを通して、発声や表現について細かく指導し、音楽活動の意欲付けを行った。
図画・工作 美術	生涯にわたって造形活動を楽しんでいく人を育てる図工・美術の授業 ～真剣な楽しさを追求して～	① 楽しく造形遊びをしながら発想につながる時間をとる。 ② つながりや変化のある複合的教材を工夫する。 ③ 発想のヒントを工夫したり、児童生徒の発想や言葉を生かしたりする。
体育 保健体育	運動に親しむための体力づくり。	① 新体力テストのデータを、プロット図などに表すことで自分の体力の推移を確認させ、自分の身体や体力に気付かせた。 ② 昨年度同様サーキットトレーニングと巧緻性を高めるような補強運動に、継続して取り組んだ。
家庭 技術・家庭	既習内容をさまざまな場面で活用できる児童・生徒の育成。	① 「お弁当の日」の活用 ② タービンデザインコンテストを通して考える、環境や電力の問題
英会話 ・英語	中学校 1 年生における音声と文字のギャップ解消のため、音声から綴りを連想できるような児童生徒を育成する。	① 「平成 25 年度 すこやか河内学校園 会話科（英会話）指導計画」の実質的運用 ② 英会話・英語部会の共通課題について、各校で周知を図る。
特別支援 教育	事例検討会を通し、児童生徒への支援のあり方を検討し支援に役立てる。	特別支援学級の小中合同行事（合同学習と校外学習）を通し、共に学ぶ場を生かす。

☆ 小中相互乗り入れ授業

本地域学校園では相互乗り入れ授業を通して、小中の教員が互いに学び合うことができると考えます。異校種における授業参画を通して授業力を高め、地域学校園に学ぶ児童生徒の学力向上を目指すことができるよう、今後も相互の交流を深めていきたいと考えています。

本年度は、中学校から小学校へ乗り入れる際の教科として指定されていた国・算・英の3教科の設定が他教科へも広がり、その第1弾として12/3(火)、岡本小学校で家庭科の教員が乗り入れ授業を行いました。

(1) 9/25(水) 中学校 → 岡本西小学校 伊藤大介教諭 「算数」



児童の興味を引き付けられるような教具を準備し、操作活動を取り入れました。児童は主体的に問題解決に取り組んでいました。また、現在の学習内容が中学校での学習内容へつながっているという話をする事ができたので、数学への関心を持たせることができたと思います。

(2) 10/31(木) 岡本西小学校 → 中学校 渡邊宏美教諭 「社会」

自分は元担任ではありませんが、生徒は授業に真面目に取り組む、説明にも熱心に耳を傾けてくれたので、とても嬉しく思いました。

中学1年生の社会科の授業では、デジタル教科書を駆使したり地図や資料集を使って確認したりするなど、様々な活動を組み合わせながら、生徒を飽きさせない工夫をしていることがわかりました。



(3) 11/22(金) 岡本西小学校 → 中学校 加藤世津子教諭 「国語」



小学校で教育実習生を受け入れている期間と重なっており、その指導に当たっていたため、乗り入れ授業の打合せに十分な時間をとれませんでした。国語の「語の意味と文脈」を指導しました。生徒は熱心に授業に取り組んでいました。また、中学校の教員と情報交換ができ、有意義でした。

(4) 12/3(火) 中学校 → 岡本小学校 佐藤貴子教諭 「家庭」

5年生では「バランスの良い食事」を指導しました。自分の食生活を振り返りながら、活発に意見を発表する姿がみられました。前時までの学習内容がよく理解されていたので、授業を円滑に進めることができました。

6年生では、「生活と環境」を指導しました。地域とのつながりが少ない年代なので、地域についての事前調査を行わせたり教材を精選したりし、地域に目を向けさせることが重要であると感じました。



小中学校の交流の様子

☆ クリーン活動 11月6日(水) 岡本西小学校

11月6日(水)すこやか河内学校園クリーン活動が行われました。岡本西小学校では、今年もリンク栃木ブレックスのチアリーダーの方たちや地域のボランティアの方々も参加しました。小学生と中学生の代表が進行を務めました。釜井台公園やゆうすい第2公園など、地域の公園に行つて、縦割り班の子どもたちと美化活動を進めました。学校に戻ってからは、班ごとに中学生と一緒に、ドロケイや中線踏みなどをして交流を深め、最後に今日の活動について感想を発表しました。



岡本小学校

岡本小学校では、小学校のなかよし班(学年縦割りグループ)に中学生が加わり、地域協議会の皆さんや、リンク栃木ブレックスの方々にもお手伝いをいただいて、学校周辺のゴミ拾いを行いました。中学生のリードでスタートし、元気に散らばっていった子どもたちは、袋いっぱいゴミを拾って意気揚々と帰ってきました。「これからはゴミが落ちていたら拾うぞ。」という声も聞かれて、美化活動への意識が高まりました。



☆ 合唱コンクール 11月2日(土)

中学校の体育館で、文化祭・合唱コンクールが行われました。

合唱コンクールは午後に行われ、たくさんの小学生が聞きに来てくれました。1年生から順に、学級ごとに発表し、審査の合間には 魅力ある学校づくり地域協議会 と PTA 共催の音楽鑑賞会が開かれ、弦楽四重奏の カルテット・アルコ の皆さんによる、プロの演奏を聞くことができました。

中学校では、合唱コンクールが近づく音楽の時間ももちろん、放課後や朝の時間も、クラスが一丸となって練習に取り組んでいます。また「練習試合」と称して、他学年の学級同士が合同練習をすることもあります。そんな中学生の歌声を、これからも多くの小学生に聞いていただきたいと思います。

